

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんの手術後に不要となった組織から作成された細胞株を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、手術後に不要となった組織から作成された細胞株を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

ヒト結膜上皮不死化細胞株を用いた基礎的検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院眼科

【研究責任者】 白石 敦（眼科 教授）

【研究の目的】

過去に受診された結膜弛緩症患者さんで、余分な結膜組織を切除する手術が必要と診断され、その切除された結膜組織を研究に使用することに同意いただいた方の結膜組織を不死化細胞株として樹立しました。今回、そのヒト不死化結膜上皮細胞株を用い、正常な細胞の状態に近づけるための遺伝子解析を用いた細胞マーカーや培養条件の検討、また眼疾患の病態解明およびその疾患に対する治療薬の評価の研究を行うこととしました。この研究は眼疾患における有効な治療の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2014年8月から2024年7月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち結膜弛緩症で手術が必要と診断された患者さんの中で「遺伝子導入によるヒト角結膜上皮不死化細胞株の樹立（承認番号 1407002）」で同意いただいた患者さん

（利用する試料） 手術時に切除した余分な結膜組織から作成されたヒト不死化結膜上皮細胞株

対象となる患者さんの試料は、匿名化され研究に使用します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

＜試料・情報の管理責任者＞

愛媛大学医学部附属病院眼科 教授 白石 敦

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院眼科 竹澤 由起 白石 敦

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5361